

2024年7月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費・企業活動ともに弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2024年7月25日公表）において、「景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している」との判断が維持された。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に6月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① **需要動向**に関して、「個人消費」、「設備投資」、「住宅建設」の判断が維持された。「公共投資」に関しては、工事出来高が増加していることから、再び「堅調に推移している」との判断に引き上げられた。

② **企業活動**に関して、「倒産件数」、「企業収益」、「生産」の判断が維持された。「業況判断」については、「製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる」との表現が削除された。

③ **雇用情勢**に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ **物価**に関しては、「国内企業物価」については、「このところ緩やかに上昇している」との表現が維持された。「消費者物価」については、「緩やかに上昇している」との表現が維持された。

⑤ **世界経済**に関しては、中国景気の減速を受けて、「一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直している」との判断に引き下げられた（判断引き下げは1年6か月ぶり）。

和歌山県の情勢

① **個人消費面**では、**百貨店・スーパー販売額（6月）**は、前年同月比1.1%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（6月）についても、前年同月比7.4%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。例年に比べて梅雨入りが遅く、好天に恵まれた点や前年に比べて土曜・日曜日数がそれぞれ1日多かったことなどが販売額増加に寄与したものと考えられる。

新車販売台数（軽自動車[乗用]含む、6月）は、前年同月比12.9%減となり、7か月連続で前年を下回った。前年12月からの一部自動車メーカーにおける出荷停止（認証不正が要因）の影響が緩和に向かう一方で、6月初旬には複数のメーカーにおいて新たな認証不正が見つかり、一部車種の出荷が停止されている。販売台数への影響については、先行き不透明感が強い。

新設住宅着工戸数（6月）は、前年同月比12.4%増（4か月連続で前年を上回る）。2022年後半以降、住宅価格の上昇などもあり、着工戸数は減少傾向にあったが、足下では底打ちの兆しも見られる。1～6月累計での着工戸数を地域別に見ると、岩出市で前年同期比28.4%増、和歌山市で同19.1%増、田辺市で同7.4%増となっている。

② **企業活動面**では、**鉱工業生産指数（5月）**は84.9となっており、2か月連続で上昇した。ENEOS和歌山製油所が前年10月に操業を停止したことで、化学工業、石油・石炭製品工業の生産指数が大幅に下降し、3月には鉱工業全体で71.7の水準まで低下していた。足

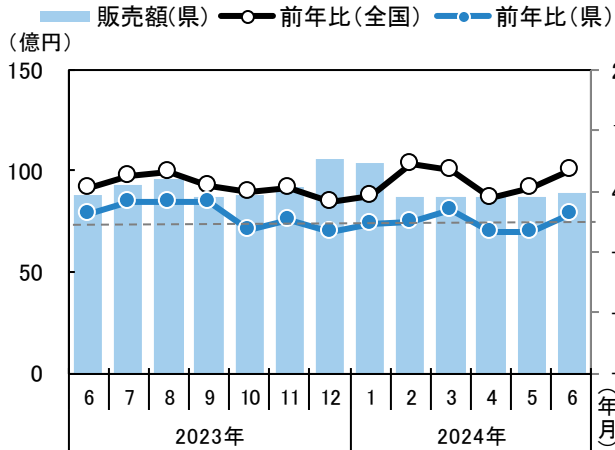
下では、主力業種であるはん用機械工業、鉄鋼業で生産指数が上昇している。

公共工事請負金額（6月）は、前年同月比 12.5%減となり、2か月ぶりに前年を下回った。2021年度以降、減少傾向にある請負金額だが、4～6月累計での請負金額では、串本地区、岩出地区、橋本地区、湯浅地区などでは増加している。その一方で、前年同時期に新庁舎建設関連の大型工事が見られた御坊地区、田辺地区では請負金額が減少している。

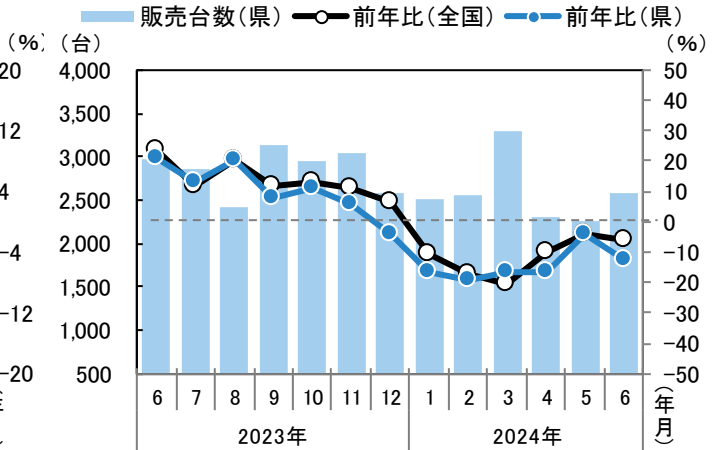
帝国データバンクが発表している**県内 TDB 景気 DI（6月）**は、2か月連続で下降した。大企業の景気 DI が改善する一方で、中小企業、小規模企業の景気 DI は2か月連続で下降している。業種別では製造業の景気 DI が3か月連続で下降した。

③ 雇用面については、**有効求人倍率（6月）**は、前月から 0.03 ポイント上昇し、1年前の水準（1.13 倍）まで回復した。有効求職者数が横ばいで推移する中、有効求人数が4か月ぶりに増加した。前年後半以降、事業主都合による離職で求職を開始した人数が増加し、雇用保険受給者実人員が増えていたが、状況は改善している。また、新規求人数についても、ほぼ前年並みの水準で推移している。このような状況を受けて、和歌山労働局では、「雇用情勢は、求人が求職を上回る状況が続いており、緩やかに持ち直しの動きがみられるが、求人の一部に足踏み感がある。引き続き、物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある」としている。

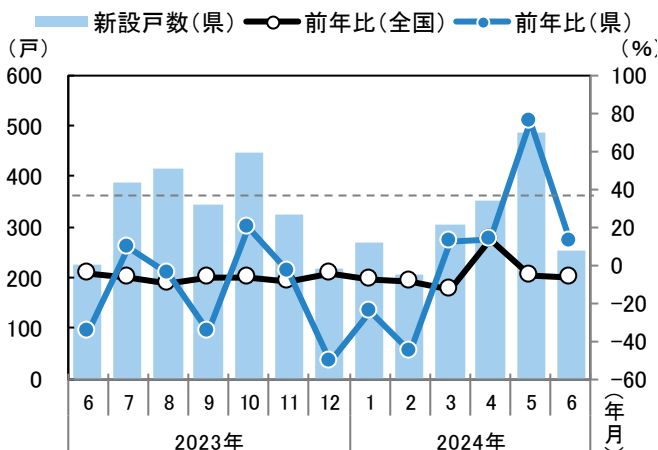
百貨店・スーパー販売額



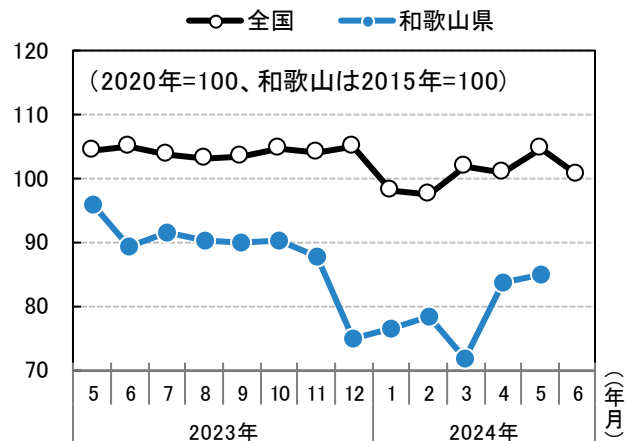
新車(登録車+軽自動車)販売台数



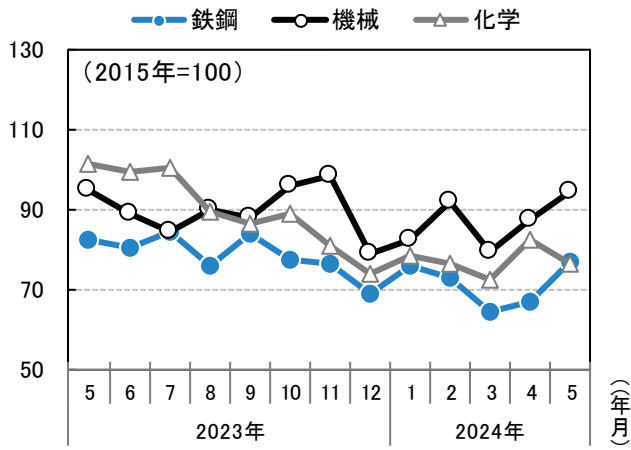
新設住宅着工戸数



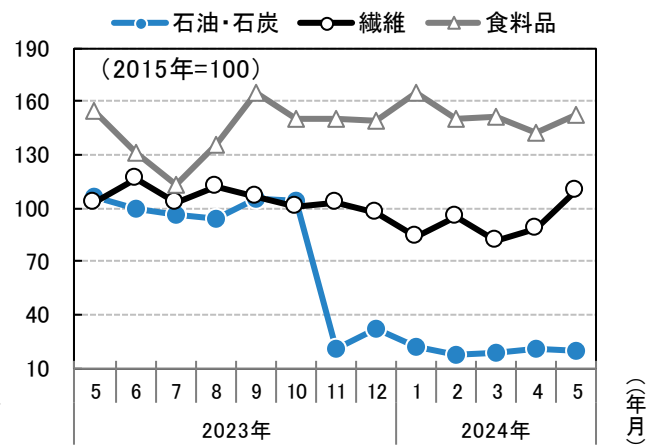
鉱工業生産指数



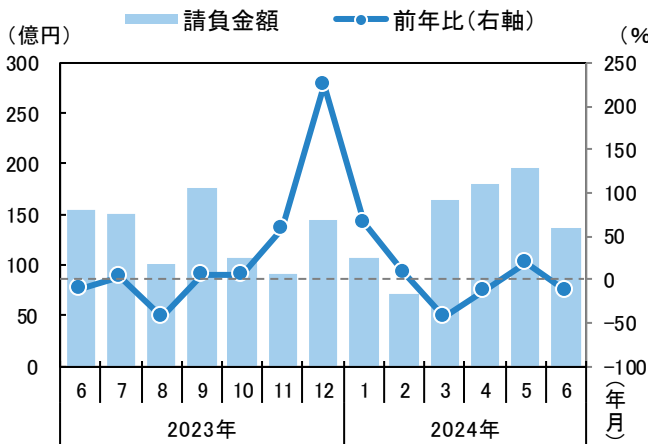
鉱工業生産指数(和歌山県)



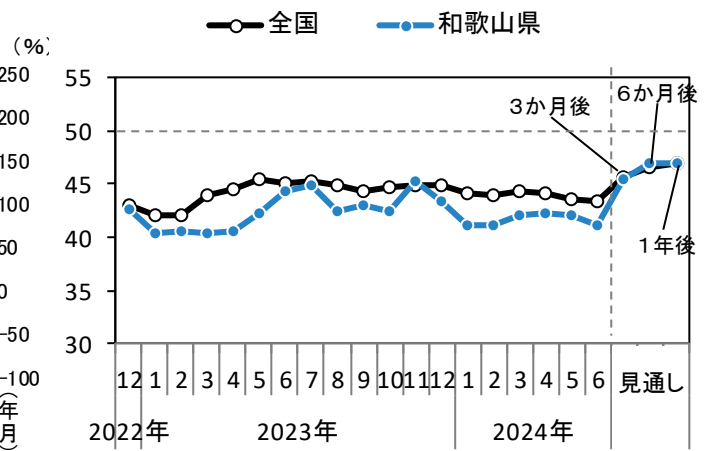
鉱工業生産指数(和歌山県)



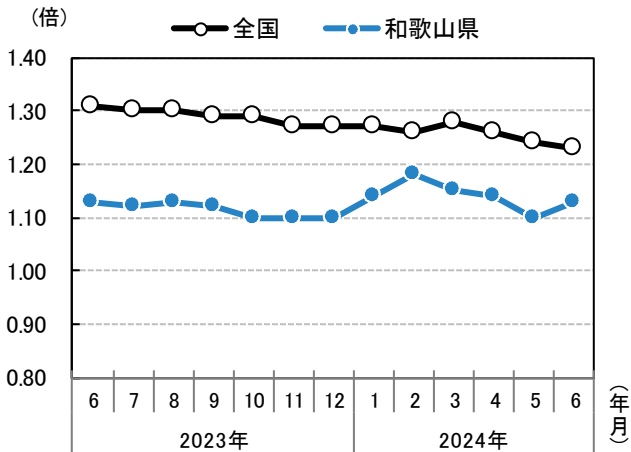
公共工事請負金額(和歌山県)



TDB景気DI(判断の分れ目は50)



有効求人倍率



(資料)株式会社帝国データバンク

(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2023年5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9
8月	96.1	6.5	2.6	2,410	20.2	20.4	415	-9.4	-4.8
9月	87.2	4.8	2.6	3,133	11.9	8.1	346	-6.8	-34.8
10月	88.5	4.0	-1.0	2,941	13.0	11.1	446	-6.3	19.9
11月	92.3	4.4	0.2	3,051	11.2	6.0	325	-8.5	-3.8
12月	106.2	2.6	-1.5	2,589	6.6	-4.0	218	-4.0	-50.9
2024年1月	104.1	3.3	-0.2	2,510	-10.9	-16.3	269	-7.5	-24.0
2月	86.7	7.6	0.0	2,566	-17.2	-19.4	205	-8.2	-45.8
3月	87.2	6.9	1.5	3,283	-20.5	-16.7	305	-12.8	12.5
4月	87.2	3.0	-1.3	2,301	-10.1	-16.4	354	13.9	13.5
5月	87.1	4.4	-1.5	2,256	-4.2	-4.0	488	-5.3	75.5
6月	89.4	6.9	1.1	2,590	-6.2	-12.9	253	-6.7	12.4

(2024年8月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2023年5月	104.1	95.8	82.4	95.0	101.4	105.9	102.6	154.6	1,629	-17.7	42.2
6月	105.0	89.1	80.2	88.7	99.5	99.5	116.0	131.1	1,553	-10.1	44.4
7月	103.5	91.3	84.2	84.1	100.2	95.7	103.1	112.8	1,504	3.5	44.8
8月	103.1	90.1	76.0	89.7	89.1	93.7	111.8	135.3	1,016	-42.5	42.5
9月	103.2	89.9	83.6	87.6	86.3	105.3	106.4	164.8	1,768	6.5	43.1
10月	104.4	90.3	77.4	95.6	88.6	103.8	100.6	149.7	1,065	5.9	42.4
11月	103.8	87.7	76.5	98.4	80.7	20.6	102.3	149.6	92.3	57.7	45.2
12月	105.0	75.0	68.7	78.8	73.8	31.5	96.9	148.5	1,439	225.0	43.3
2024年1月	98.0	76.3	75.9	82.2	78.5	21.5	83.9	164.4	1,077	65.4	41.1
2月	97.4	78.4	73.0	91.9	76.4	17.1	95.1	150.5	71.5	8.8	41.1
3月	101.7	71.7	64.1	79.5	72.4	18.0	81.6	151.3	1,649	-42.2	42.0
4月	100.8	83.5	66.8	87.2	82.1	21.0	88.0	142.4	1,804	-12.3	42.2
5月	104.4	84.9	76.7	94.1	76.4	19.1	109.4	152.6	1,961	20.3	42.1
6月	100.6							1,359		-12.5	41.2

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2024年8月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2023年5月	1.32	1.15	16,387	14,235	16.5	20.2
6月	1.31	1.13	16,159	14,279	14.0	17.8
7月	1.30	1.12	16,145	14,444	14.1	15.4
8月	1.30	1.13	16,289	14,448	13.3	14.5
9月	1.29	1.12	16,315	14,597	15.4	17.0
10月	1.29	1.10	16,194	14,675	14.8	16.2
11月	1.27	1.10	16,123	14,712	14.9	50.9
12月	1.27	1.10	16,330	14,813	13.0	15.4
2024年1月	1.27	1.14	16,600	14,609	10.8	11.8
2月	1.26	1.18	17,285	14,689	14.1	18.3
3月	1.28	1.15	16,661	14,544	17.1	24.2
4月	1.26	1.14	16,393	14,375	16.5	19.3
5月	1.24	1.10	16,174	14,728	15.3	21.3
6月	1.23	1.13	16,519	14,643	14.5	17.7

(2024年8月1日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。